

推進の柱1

重点項目1：自分らしく生きるための支援を進める

行動計画	取組	令和3年度実施計画	実施した取組結果	実施主体
1 個人の権利と尊厳 を守るための仕組 みづくり	認知症に関する正しい知識の普及啓発を行います。	・認知症サポーター養成講座等の実施	コロナ禍で回数は少ないが、各施設で実施した。	高齢・障害支援課 認知症初期集中支援チーム 地域ケアプラザ
		・認知症キャラバン・メイト連絡会の実施	区役所で1回実施し、包括支援センターでも開催した。	高齢・障害支援課 認知症初期集中支援チーム 地域ケアプラザ
	認知症の人と家族が安心して住み慣れた地域で生活できるよう、地域での見守り体制を推進します。	・認知症高齢者等SOSネットワーク及びシール事業の周知	チラシを配布し周知を行った。新規登録28件	高齢・障害支援課 認知症初期集中支援チーム 泉警察 地域ケアプラザ
		・関係機関連絡会等の継続	SOSネットワーク登録機関との連絡会を実施した。	高齢・障害支援課 認知症初期集中支援チーム 泉警察 地域ケアプラザ
	認知症が重症化する前に、適切・適切に医療・介護サービスが受けられる仕組みを作ります。	・オレンジガイドの周知	窓口の相談時に配布した。	高齢・障害支援課 認知症初期集中支援チーム 地域ケアプラザ
		・介護者支援に関する周知媒体の作成	介護所のつどいや認知症カフェのチラシを作成した。	高齢・障害支援課 認知症初期集中支援チーム 地域ケアプラザ
		・もの忘れ相談・介護相談の実施	もの忘れ相談は毎月、介護相談は年10回実施した。	高齢・障害支援課 認知症初期集中支援チーム 地域ケアプラザ
		・もの忘れ検診の周知 ・認知症初期集中支援チームと医師会との連携強化	もの忘れ検診のリーフレットを窓口で配布し、電話相談時も案内した。また、初期集中支援チームと医師会にも周知について連携した。	高齢・障害支援課 認知症初期集中支援チーム 地域ケアプラザ
	高齢者や障害者の権利擁護や成年後見等の理解を進めます。	・エンディングノート普及啓発	啓発講座を実施し、包括支援センターでも開催。講座開催時にノートを配布した。	高齢・障害支援課 地域ケアプラザ 基幹相談支援センター
		・成年後見サポートネット開催	四士業(弁護士・司法書士・行政書士・社会福祉士)と関係機関により、年4回実施した。専門職会議4回、全体会2回開催。	高齢・障害支援課 地域ケアプラザ 基幹相談支援センター
		・成年後見制度や権利擁護等に関する制度の周知	窓口の相談時に案内を配布した。制度チラシを配架した。	高齢・障害支援課 地域ケアプラザ 基幹相談支援センター
		・市民後見人支援	区社会福祉協議会と連携し、市民後見サポートネットを1回開催した。	高齢・障害支援課 地域ケアプラザ 基幹相談支援センター
	高齢者や障害者への虐待を早期に見つけられるよう、区民への啓発を推進します。	・あんしんセンターの利用促進	包括支援センター社会福祉士連絡会に定期的に参加するほか、新任ケアマネジャー研修、認知症カフェで事業の周知活動を行った。	区社会福祉協議会
		・高齢者虐待防止事業	横浜市や泉区で発行した虐待に関するチラシを区や包括支援センターにて配架したり、研修等で配布した。	高齢・障害支援課 地域ケアプラザ
		・障害者虐待防止事業	障害者プラン冊子を配架した。	高齢・障害支援課 地域ケアプラザ
		・高齢者虐待防止事業	各包括支援センターの主任ケアマネジャーと連携し、泉区内のケアマネジャー向けに研修を行った。	高齢・障害支援課 地域ケアプラザ
	虐待への対応が適切に行えるよう、関係機関との連携を進めます。	・障害者虐待防止事業	警察、生活支援センターなど各支援関係機関と連携して対応した。	高齢・障害支援課 地域ケアプラザ

推進の柱1

重点項目1：自分らしく生きるための支援を進める

行動計画	取組	令和3年度実施計画	実施した取組結果	実施主体
2 在宅での生活を支えるための連携体制の構築	在宅医療を支える人材の育成を進め、多職種の連携体制を強化します。	・医療機関と介護事業所の研修機会の充実	オンライン等感染予防の工夫をし、計画通り実施できた。次年度は、相互間のやり取りがより一層進むように支援。	高齢・障害支援課 在宅医療相談室 地域ケアプラザ
		・関係者の連携ツール「私のおぼえがき」の普及啓発	研修案内の際に説明文とともに区内全事業所に送付するとともに区介護保険係窓口に配架し周知した。次年度は実際の活用について確認していく。	高齢・障害支援課 在宅医療相談室 地域ケアプラザ
		・重症化しない在宅療養体制をめざし、介護・医療支援者の関係づくりを推進	研修会等はほぼ計画通りに実施できたが、集合開催時の人数や内容に制限があり、次年度は以前の関係に戻れるような取組が必要である。	高齢・障害支援課 在宅医療相談室 地域ケアプラザ
	在宅医療や介護体制をより円滑に整えられるよう、泉区在宅医療連携拠点の支援を行います。	・在宅療養を可能にする医療体制の検討	訪問診療ができる医療機関をまとめ、関係者が活用できた。在宅医療相談室が相談に応じながら、専門医の調整を行っていく。	高齢・障害支援課 在宅医療相談室 地域ケアプラザ
		・自宅での看取りの対応を検討	ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の市民向け講演会やVRを利用した関係者への周知を行った。次年度も継続してACPについて取り組み、より一層の周知を行っていく。	高齢・障害支援課 在宅医療相談室 地域ケアプラザ
	在宅療養生活における多様な選択を可能にするため、区民や専門職への情報発信を行います。	・救急相談センター（#7119）の周知	ケアマネフォンテ(泉区介護支援専門員連絡会)向け研修会を調整した。区民に普及してしてきた様子。次年度も継続して機会をとらえて周知していく。	高齢・障害支援課 在宅医療相談室 泉消防(救急) 地域ケアプラザ
		・夜間対応型訪問介護(ケアコール)等民間サービスを含めての周知	必要な方に介護保険申請時等に周知した。サービスが十分でない状況であり、今後対応について検討していく。	高齢・障害支援課 在宅医療相談室 泉消防(救急) 地域ケアプラザ
		・訪問歯科健診、訪問歯科診療、訪問診療等の周知	関係機関(特にケアマネジャー)に向けて周知した。今後も継続して行っていく。	高齢・障害支援課 在宅医療相談室 泉消防(救急) 地域ケアプラザ
		・ACP(アドバンス・ケア・プランニング)に関する啓発と「もしも手帳の」普及啓発	講演会参加者に配布した。広報に掲載し、区及び地域ケアプラザで配布していく。	高齢・障害支援課 在宅医療相談室 泉消防(救急) 地域ケアプラザ

推進の柱1

重点項目1：自分らしく生きるための支援を進める

行動計画	取組	令和3年度実施計画	実施した取組結果	実施主体
<p>3 サポートが必要な 方々の理解と支援 の推進</p>	<p>障害児・者やその家族に対してのサポートに関する講座を開催します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移動情報センター</li> </ul>	<p>障害児・者や家族に寄り添った業務が進められるよう、「将来にわたるあんしん施策」に関する研修を企画するが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。</p>	<p>高齢・障害支援課 区社会福祉協議会 地域ケアプラザ</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害児者と交流する事業</li> </ul>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、軽スポーツ大会は中止。昨年度に引き続き、泉ふれあいシールラリー2021を実施し、障害福祉サービス事業所が多くある泉区の魅力を広く発信した。</p>	<p>高齢・障害支援課 区社会福祉協議会 地域ケアプラザ</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ セイフティーネットプロジェクト横浜の取組による障害理解出前講座の実施</li> </ul>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、障害理解出前講座の実施は1件。コロナ禍に配慮した出前講座実施のための工夫が必要。</p>	<p>高齢・障害支援課 区社会福祉協議会 地域ケアプラザ</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ガイドボランティアの育成</li> </ul>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、ガイドボランティア育成講座は中止。</p>	<p>高齢・障害支援課 区社会福祉協議会 地域ケアプラザ</p>
	<p>障害児・者の理解を深めるため、障害者支援施設や地域作業所による自主製品販売等の支援を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自主製品等販売活動支援事業</li> </ul>	<p>【障害者支援担当】 (1) 区庁舎での販売 ・ 販売実績：240回（通年週5日） コロナ状況による休止あり（各事業所判断） (2) 戸塚駅での泉区産農産物販売支援 ・ 販売実績0回（通年週2回（水・金）の予定がコロナ状況により休止） ・ 参加事業所とは適宜電話で状況確認 (3) 立場駅での自主製品販売支援 ・ 令和3年度4月開始。実績1回（コロナ状況悪化により休止） ・ 再開に向けた自立協日中活動部会での打ち合わせ参加、交通局との調整や使用許可申請手続きなどの支援</p>	<p>高齢・障害支援課 地域ケアプラザ</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害福祉事業所マップによる普及啓発</li> </ul>	<p>区内各事業所の情報を掲載したデザイン完成。</p>	<p>高齢・障害支援課 地域ケアプラザ</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉の作品展</li> </ul>	<p>開催し、障害者週間や参加団体の日々の活動の様子などを広く周知した。作品写真集を作成し、開催後の啓発に活用した。</p>	<p>区社会福祉協議会 地域ケアプラザ</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報紙配布業務の委託</li> </ul>	<p>区内事業所に全戸配布のポスティングを委託した。継続的な受注事業として依頼している。</p>	<p>区社会福祉協議会 地域ケアプラザ</p>

推進の柱1

重点項目1：自分らしく生きるための支援を進める

行動計画	取組	令和3年度実施計画	実施した取組結果	実施主体
3 サポートが必要な 方々の理解と支援 の推進	障害児・者の活動をサポートする担 い手の育成のため、ボランティア講 座を実施します。	・ボランティア講座の企画、実施	新型コロナウイルス感染症の影響により、ガイドボランティア育成講座を計画したものの中止。	区社会福祉協議会 地域ケアプラザ
		・当事者団体及び家族会等への活動費の助成	「泉ふれあい助成金」障害児者支援区分において、障害児者支援・障害当事者活動を行っている団体へ活動費を助成した。	区社会福祉協議会 地域ケアプラザ
	児童虐待防止や早期予防のため、地 域や関係機関との連携を強化し、地 域で見守るネットワークの充実を図 ります。	・児童虐待防止に関する地域住民への広報・啓 発	令和3年度は7月15日に中田・しらゆり地区にて、また11月8日に上飯田地区にてそれぞれエリア別の要保護児童対策地域協議会を実施。地域のこども家庭に関わる方たちに、講師を招いた事例検討を通じて児童虐待の理解や、広報・啓発を行った。 民生委員児童委員協議会・こんにちは赤ちゃん訪問員定例会・主任児童委員連絡会等で児童虐待に関するリーフレットを配布した。また広報11月号に「子どもの健やかな成長のために」の記事を掲載し、広報・啓発を行った。	こども家庭支援課
		・関係機関・支援者・職員への研修や要保護児童 対策地域協議会の開催	令和3年5月27日に要保護児童対策地域協議会実務者会議を開催し、関係機関の取り組み状況の共有や意見交換を通じて児童虐待への理解を深めるとともに、地域での見守りやネットワークの強化を図った。令和4年2月21日に研修会を予定していたがコロナの影響で中止。令和4年度に研修会の開催を引き継ぐ予定。	こども家庭支援課
	日本語が苦手な外国籍区民の支援を します。	・日本語や日本の文化に触れあう子育てサロンの 実施	横浜市北上飯田保育園において、日本の文化に触れ合い、親しみを持っていただきながら居場所を提供する子育てサロンを開催した。 (計24回開催、49名参加)	こども家庭支援課
		・乳幼児健診後の通訳を同席したフォロー	乳幼児健診後のフォロー及び個別心理相談対応時に、通訳の同行や同席をした。 (ベトナム語通訳：10回実施)	こども家庭支援課
	こころの病や精神疾患についての理 解を広め、当事者の社会参加を支援 します。	・生活教室	20回開催	高齢・障害支援課 生活支援センター
		・家族教室	2回開催	高齢・障害支援課 生活支援センター
・研修の実施		包括支援センター周知目的の区民向け講演会（コロナ状況により中止）	高齢・障害支援課 生活支援センター	

推進の柱 1

重点項目 2 : 元気でいるための支援を充実させる

令和3年度泉わくわくプラン実施計画一覧 (第4期計画1年目)

行動計画	取組	令和3年度実施計画	実施した取組結果	実施主体
1 介護予防・健康づくりの推進	受動喫煙防止や禁煙相談等に取り組みます。	・地域での喫煙防止教室の実施	新型コロナウイルス感染症流行の中、各種事業を通じて3,172人に啓発することができた。 喫煙防止教室は中止となったが、希望する学校の1,080人の中高生にチラシ等を配付し、啓発することができた。 区独自アンケートでは喫煙率が11%、COPD認知度が48%と目標を下回った。	福祉保健課
	乳幼児健診の保護者への健康づくりの啓発を実施します。	・乳がん・子宮がん啓発、食事相談、健康測定の実施	3か月児健診時(年24回)に乳がん自己触診法とがん検診の受診方法について、236人に啓発した。	
	地域などでのがん検診や若い世代からの生活習慣病予防など、セルフケアの取組への支援を実施します。	・地域イベント等での啓発の実施	保健活動推進員が地域の活動でリーフレットを用いて特定健診やがん健診の啓発を行った。	
		・健康づくり講座の実施	1コース(2回講座)実施し7人が参加。	
		・食生活相談の実施	年24回実施し317人が参加。	
		・生活習慣改善相談の実施	年36回実施し250人が参加。	
	自ら介護予防・健康づくりに取り組むための区民意識を醸成します。	・特定健診(国民健康保険)、がん検診等の周知	区内地域ケアプラザ等へのポスター掲示(4月) 窓口での保険証ケースによる、特定健診受診勧奨PR(6月~) 10月号広報と区のホームページを使って、特定健診・がん検診の受診啓発を行った。 保健活動推進員が地域の活動でリーフレットを用いて特定健診やがん健診の啓発を行った。	保険年金課
		・区や地域ケアプラザ主催イベント等での啓発の実施	広報よこはまや区のホームページで各種健康づくりイベントを周知。	福祉保健課 地域ケアプラザ
	介護予防・健康づくりの推進	・各種活動団体の取組の周知	保健活動推進員や食生活等改善推進員が各地域において、健康づくりに関する推進の取組を円滑に行えるよう、啓発などの支援を実施。 保健活動推進員だよりは約5,100枚を配付、活動紹介パネルも作成し、保健活動推進員の活動を地域住民に周知。	福祉保健課 地域ケアプラザ
		・講演会や啓発媒体等による介護予防・健康づくりについての情報提供	フレイル予防について、講演会の開催や広報記事にて普及啓発を行った。	高齢・障害支援課 地域ケアプラザ
		・介護予防・健康づくりに関する講座の開催	姿勢測定、認知症予防等の様々なテーマで実施し、新規者や参加が少ない男性等への参加を働きかけた。	高齢・障害支援課 地域ケアプラザ
		・公園等への健康遊具の設置・活用	健康遊具を和泉中央北あやめ公園に2基設置。	福祉保健課 地域ケアプラザ 土木事務所
		・健康みちづくり事業の推進	ウォーキングイベントを3回実施し217人が参加。 ウォーキングマップを1,200部増刷。	福祉保健課 地域ケアプラザ 土木事務所
		・介護予防活動グループをまとめた「元気の秘訣!お役立ちガイド」の更新・配布	令和4年度に向け更新を行い、区及び地域ケアプラザで配布していく。コロナ禍で活動を休止しているグループもあり、状況確認を継続していく必要がある。	高齢・障害支援課 地域ケアプラザ
		・元気づくりステーション立ち上げ支援及び活動継続支援等	コロナ禍で新規支援は難しく、既存のグループの活動休止や再開について相談・支援した。ほとんどのグループが活動内容を工夫し活動を継続している。	高齢・障害支援課 地域ケアプラザ
・包括支援センターエリア毎の介護予防活動グループの交流や研修会の実施		感染拡大の状況に合わせて、包括支援センターエリアでの交流や研修を行っている。次年度以降も継続して行う。	高齢・障害支援課 地域ケアプラザ	
・出前講座やリハビリテーション専門職の派遣等による活動支援	リハビリテーション専門職の継続派遣を行っているため、経年的な評価ができつつある。他、保健師や歯科衛生士等の出前講座も継続していく。	高齢・障害支援課 地域ケアプラザ		
・介護予防活動を支える人材を対象にした体力測定講座の実施	計画通りに実施。コロナ禍で、自身の所属する活動グループで実際に行うのが難しい状況だった。次年度は、必要物品の貸出等も工夫して支援していく。	高齢・障害支援課 地域ケアプラザ		
介護予防・健康づくりを担う人材の育成や活動支援を行います。	・地域イベント等での健康づくりや食生活等改善の啓発の実施	保健活動推進員や食生活等改善推進員が各地域において、健康づくりに関する推進の取組を円滑に行えるよう、啓発などの支援を実施。 令和3年度末時点の保健活動推進員:192人、食生活等改善推進員:60人	福祉保健課 地域ケアプラザ	
	・シニア大学での講師派遣や出前講座等	友愛活動推進員を対象にフレイル・オーラルフレイル予防の講座を行った。	高齢・障害支援課 地域ケアプラザ	

推進の柱 1  
重点項目 3 : 地域の安全をみんなで考える

令和3年度泉わくわくプラン実施計画一覧 (第4期計画1年目)

行動計画	取組	令和3年度実施計画	実施した取組結果	実施主体
1 安心・安全に暮らせる環境の整備と推進	地域での防犯、防災の意識を高めるための啓発を行っていきます。	・災害時の安否確認取組支援	希望する自治会町内会に対し、安否確認カードを配布した。また、新規に配布する自治会町内会に対しては、安否確認カードを使用した訓練方法のレクチャーを行うなど、より実効性のある取組となるよう支援を行った。	総務課
		・訓練資機材の貸出	新型コロナウイルス感染症の影響により単会での防災訓練等の開催が少なくなり希望がなかったため、実施せず。	
		・防災訓練プログラム研修会	新型コロナウイルス感染症の影響により単会での防災訓練等の開催が少くなり希望がなかったため、実施せず。	
		・訓練対象別防災プログラムの整備	若い世代向けのアウトドア要素を取り入れた訓練や要援護者の体験等を通じた要援護者支援のための訓練プログラムの整備を行い、動画を製作・公開した。	
		・町の防災組織研修会	町の防災組織に向けて、自助・共助の取組に関する研修会を実施し、54団体104名が参加した。	
		・防災出前講座	町の防災組織等からの要望により、各団体の希望する内容での防災出前講座を13団体で実施した。	
		・防犯講習会の実施	合計7回：和泉北部、いちょう団地、新橋、しらゆり、上飯田（3回）	
	幅広い世代が災害を自分事として考えるきっかけを作り、地域の防災活動への参加に繋がります。	・防災フェアの開催	深谷通信所跡地中央広場跡地活用イベントにおいて、防災フェアを開催した。自衛隊や警察の特殊車両の展示や起震車を活用した家具転倒防止のデモンストラレーションなど展示を主とした内容となったが、イベント全体ではおよそ1,000名の方にご来場いただき、効果的な防災啓発を行うことができた。	総務課
		・防災アトラクションの開催	コロナ禍であっても若い世代に向けた防災啓発が行えるよう、Zoomを利用したオンライン型防災コンテンツ「リモート型防災アトラクション」を実施した。オンラインならではの参加者と主催者との双方向のやり取りを通じながら、効果的な防災啓発を行うことができた。	
	震災発生時に、円滑な開設・運営が可能となるよう地域防災拠点の取組を支援するとともに、避難生活に支援等が必要な要援護者の受け入れが円滑に行えるよう福祉避難所との連携を強化します。	・地域防災拠点運営委員会委員研修	地域防災拠点についての基本事項から新型コロナ感染症を考慮した開設及び訓練の実施まで、発生時に円滑に開設・運営が行えるよう、運営委員に向けて研修を行った。研修は同じ内容で2日間の計2回行い、計65名の方が参加し、効果的な研修が行えた。	総務課
	高齢者や障害児・者など、災害時に手助けが必要な方（災害時要援護者）の把握や見守り、避難支援の仕組みづくりを地域と共に進めます。	・災害時要援護者支援事業	発災時に要援護者を含めた地域の方々の安否確認を支援するため、希望する団体に対し、安否確認カードを配布した。また町の防災組織研修会や防災出前講座において、安否確認カードを活用した訓練のレクチャーや他地区の取り組み事例の紹介などを行い、地域における要援護者支援の仕組み作りに取り組んだ。	総務課 福祉保健課 高齢・障害支援課
	市民生活を守り、災害に強い、安心・安全なまちづくりを進めます。	・河川の整備	阿久和川においては、橋際橋の架替工事を行った。また和泉川においては、中和田橋下流の護岸整備及び大坪橋周辺の管理用通路の整備を行った。	土木事務所
・通学路安全対策		18小学校(区画線等新設及び補修17箇所、あんしんカラーベルト新設及び補修400m、主要交差点安全対策3交差点)		
・橋りょうの老朽化対策		東海道新幹線に架かる橋梁補修の施工調整		

推進の柱 1

重点項目 3 : 地域の安全をみんなで考える

令和3年度泉わくわくプラン実施計画一覧 (第4期計画1年目)

行動計画	取組	令和3年度実施計画	実施した取組結果	実施主体
1 安心・安全に暮らせる環境の整備と推進	学校から帰宅する時間帯に保護者が家庭にいない児童に対し、遊びや生活の場を提供し、放課後の安心・安全な居場所づくりを進めていきます。	・放課後キッズクラブ16校、放課後児童クラブ11か所に対する運営支援	補助金の使途や制度の解釈、クレーム対応等について日々クラブからの問合せに対応した。 5年間の運営期間が終了した2クラブについて、公募により法人選定を実施した。	こども家庭支援課
	地域で安心して子育てができるように、地域住民同士で子供を預け預かる支え合いの仕組みを促進します。	・横浜子育てサポートシステムを実施	令和3年度は年間で1140件を実施した。 (令和3年3月末現在、利用会員419人、提供会員103人、両方会員27人)	地域子育て支援拠点
	不慮の事故から子どもの命を守るため、事故予防や救急医療のかかり方等の普及啓発を進めます。	・こんにちは赤ちゃん訪問で「災害時の備え」リーフレット配布	こんにちは赤ちゃん訪問で「災害時の備え～マタニティ・ベビー編」を全対象へ配付した。	こども家庭支援課
		・赤ちゃん教室で消防と協働し、QQ法を実施	全10会場で消防局担当者による誤飲予防、救急医療のかかり方をテーマとした講話を実施した。引き続き、教室内で講話を継続する。	
・「子どもの救急・事故予防」のマグネット配布		「子どもの救急・事故予防マグネット」の配布は令和3年度で終了とした。市ホームページで内で「子どもの救急・事故予防」に関する動画を掲載しているため、子育て世代へ周知していく。		
・両親教室でチャイルドシート着用の講義	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い泉区交通安全協会講師による講話は中止した。			

推進の柱2

重点項目1：相談しやすい仕組みを整える

行動計画	取組	令和3年度実施計画	実施した取組結果	実施主体
1 制度の周知と相談 対応の推進	身近な場所で、親子の交流や子育てに関する相談対応・情報提供を行います。	・地域子育て支援拠点で相談を実施	地域子育て支援拠点において横浜子育てパートナーが相談に対応した。また助産師や栄養士の相談日を設け、妊娠期からの相談に応じた。区担当が乳幼児健康診査等の事業を活用し子育て支援拠点が相談機関であることを周知した。（令和3年度子育てパートナーによる相談459件）	こども家庭支援課 地域子育て支援拠点
		・地域子育て支援拠点において専門スタッフ：横浜子育てパートナーによる子育てに関する個別相談	地域子育て支援拠点において横浜子育てパートナーによる個別相談を実施。必要に応じて区こども家庭支援課の専門職と情報共有し、継続支援に繋げた。（令和3年度子育てパートナーによる相談459件）	
		・園庭開放・施設開放・育児相談・育児講座・園児との交流保育等を実施	施設開放、子育て相談等を通じ、多くの保護者（養育者）への育児支援を行った。	
		・区内8か所の区民利用施設等で子育て支援者が、親子の交流や相談に応じる	感染対策を講じて、区内8か所の区民利用施設で実施した。子育て支援者が親子の困りごとや不安を傾聴し、必要に応じて区こども家庭支援課の専門職と内容を共有。（令和3年度利用者数 延べ2192人）	
	区役所で乳幼児期から学齢期までの子育て等の悩みごとに関する相談を実施します。	・学校カウンセラー、教育相談員、保健師、保育士等、専門職による電話相談や予約制での面談の実施	専門職による電話相談及び面接を実施した。必要に応じて、継続支援や保育所や学校、児童相談所等の関係機関と情報共有・連携した。	こども家庭支援課
	ひきこもり等の困難を抱える方やその家族に対するの専門相談を実施し、自立を支援します。	・専門職による予約制での面談の実施（月2回）	おおむね15歳～39歳までのひきこもり等の困難を抱える若者及びその家族を対象に、西部ユースプラザ職員による「若者のための専門相談」を月2回実施した（令和3年度相談実績14件）。	
	養育者の多様な保育ニーズに対して、きめ細やかな相談・情報提供を行います。	・保育・教育コンシェルジュによる相談・支援	保育・教育コンシェルジュが出張相談を行うことで、小さなお子さんを抱える保護者が区役所まで足を運ばなくても、保育園・幼稚園の相談ができる環境を作った。また、コロナ禍で来庁を控える保護者に対し、電話での相談も積極的に行い、保護者のニーズに合わせた相談環境を整えた。	
		・保育園・幼稚園との協働による保育施設PRイベントの開催	区庁舎において、区内の保育施設・幼稚園・地域子育て拠点と協働で、区内育児支援情報の提供と保育園・幼稚園の紹介等を行うイベント「いずみっこひろば」を開催した。	
	身近な場所で、障害のある人や地域住民の相談対応・情報提供を行います。また、地域に向けての障害理解啓発の活動を行います。	・基幹相談支援センターや生活支援センターでの相談等を実施	両支援センターでの相談対応実施（通年）	高齢・障害支援課 生活支援センター 基幹相談支援センター
		・障害理解啓発の研修会等の実施	「にも包括」周知目的の区民向け講演会（コロナ状況により中止）※1 泉ふれあいシールラリー（11月～12月）開催	
	身近な相談窓口の機能・連絡先を周知します。	・様々な媒体を活用した情報提供の拡充	各相談先についてチラシや広報等の紙媒体の他、区HPでも情報提供した。	高齢・障害支援課 地域ケアプラザ
		・包括支援センター紹介リーフレットの活用	介護保険申請や相談時にリーフレットを用いて包括支援センターの説明を行った。	
・研修会、地区社会福祉協議会分科会にて啓発・情報提供		チラシやリーフレット等を活用し情報提供した。	区社会福祉協議会	

※1 「にも包括」は「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」の略称。

推進の柱 2

重点項目 1 : 相談しやすい仕組みを整える

行動計画	取組	令和3年度実施計画	実施した取組結果	実施主体
2 妊娠期からの 切れ目のない 子育て支援	横浜市版子育て世代包括支援センターとして、区役所と地域子育て支援拠点のそれぞれの強みを生かし、連携を図りながら妊娠期から乳幼児期の切れ目のない支援を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>母子保健コーディネーターの面談、電話、家庭訪問</li> <li>地域子育て支援拠点の子育てパートナーとの連携</li> </ul>	<p>母子保健コーディネーター2名体制で妊娠期から切れ目なく支援ができるよう、母子健康手帳交付時面接を実施。面接後、必要に応じて電話や家庭訪問にて継続的な支援をした。また、出産後も保健師と協力し、家庭訪問や4か月健康診査時に助言をしている。 (令和3年度 面接:585件、電話151件、家庭訪問62件)</p> <p>地域子育て支援拠点において横浜子育てパートナーによる個別相談を実施。必要に応じて区こども家庭支援課の専門職と情報共有し、継続支援に繋げた。 (令和3年度子育てパートナーによる相談459件)</p>	こども家庭支援課 地域子育て支援拠点
	初めて子育てをする親と1歳までの子を対象に、身近な会場で子育ての学習や仲間づくりをすすめます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>区内10か所で各年10回、赤ちゃん教室を開催</li> </ul>	区内10か所で開催し、栄養士、歯科衛生士、保健師による講話を実施した。8月及び9月は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止とした。 (令和3年度 延べ1,251人参加)	こども家庭支援課
	生後4か月までの乳児がいる全ての家庭を地域の人(こんにちは赤ちゃん訪問員)が訪問することで、日常的な交流のきっかけをつくり、地域で子どもを見守るまちづくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>こんにちは赤ちゃん訪問員による全戸家庭訪問</li> </ul>	新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じて全戸訪問を実施。赤ちゃん教室等の情報を提供し、養育者の困りごとを傾聴。必要に応じて保健師や助産師と情報共有し、継続的な支援につなげた。	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て情報や災害時の備え等の情報提供</li> <li>子育て不安の解消や地域支援活動の紹介や必要な専門支援へのつなぎ</li> </ul>	<p>こんにちは赤ちゃん訪問に加え、新生児訪問や乳幼児健康診査時に子育て情報や災害時の備えについて情報提供をした。</p> <p>訪問員が対象者の困りごとや不安を傾聴し、必要に応じて助産師や保健師と情報共有している。また地域情報を集約したマップを配付し、地域子育て支援拠点や赤ちゃん教室等の紹介をすることで子育て支援の場へつなげている。</p>	

推進の柱2

重点項目2：困りごとを支援につなぐことができる人を増やす

行動計画	取組	令和3年度実施計画	実施した取組結果	実施主体	
1 支援者スキルアップ・ 対応力向上	地域の子育て支援の場で、養育者の困りごとなどを傾聴し必要な支援につなげられる、子育てボランティアを増やします。	・子育て支援活動に携わる方を対象に検討会や講演会等を実施し、子育て支援や傾聴の知識を増やします。	検討会で泉区の子育て世帯の現状を共有し、必要な支援や地域でできる子育て支援を検討した。検討会の結果、子育て支援に活かせる活動ヒント集の作成や子育て応援マークの作成に至った。（令和3年度 検討会2回実施53人参加） 地域子育て支援拠点と協働で、子育て応援サポーター研修を実施した。（令和3年度研修参加者：10人）	こども家庭支援課	
	ひきこもり等の困難を抱える方やその家族への支援に向けた地域の理解を深めます。	・区役所内部や地域ケアプラザなど関係機関・団体等と連携したセミナー・相談会の実施	9月17日に区役所で「不登校・ひきこもり等の困難を抱える若者・家族セミナー・相談会を開催し、地域の方への理解を深めるとともに当事者またはその家族への相談会を実施した。	こども家庭支援課	
	保育の質の向上を図り、乳幼児の健全な成長を促進します。	・保育施設間での交流や情報交換・ノウハウを共有するための研修会等の実施	各種研修会・交流会を実施し、保育施設等全体のスキルアップを図り、質の高い保育サービスを提供した。	こども家庭支援課	
	生活困窮者が相談・支援につながりやすい地域づくりを進めます。	・広報等による区民理解の推進 ・区役所内をはじめ、地域関係機関や団体等との連携強化 ・生活困窮者支援制度の啓発を推進	広報よこはま泉区版令和4年4月号に「生活困窮者自立支援制度」特集掲載。 高齢・障害支援課、こども家庭支援課、税務課、保険年金課の課・係会議等で制度説明や具体的な連携方法についての意見交換を実施 地域活動交流コーディネーター連絡会や区内活動団体の定例会議に参加し定期的に情報交換や制度紹介を実施。 区セーフティネット会議や地域ネットワーク構築支援事業の実施により関係機関との連携強化や制度の啓発を推進。	生活支援課	
	様々な相談に対応できるよう、関係機関職員等を対象とした研修等を開催し、対応力の向上を図ります。	・区民生委員児童委員協議会や地民生委員児童委員協議会での研修開催支援	ひきこもりに関する研修を3月に行った。		福祉保健課
		・ケアマネジャー向け研修	包括支援センター、在宅医療相談室と協力して研修を実施した。		高齢・障害支援課 地域ケアプラザ 基幹相談支援センター 生活支援センター
		・自立支援協議会（相談部会等）の運営支援	事務局会議12回、各部会（相談/日中活動/精神/グループホーム）及び部会事務局への出席。		高齢・障害支援課 地域ケアプラザ 基幹相談支援センター 生活支援センター
	地域特性の把握・共有と、地域支援への活用を進めます。	・地域分析の実施と結果の活用・共有	地域支援チームに参考資料として情報提供を行ったほか、約半数の課での業務の参考として活用された。		地域力推進担当 地域ケアプラザ
		・泉区地域協議会で提出された地域の課題感について地域ケアプラザ等と共有。	地域活動交流コーディネーター連絡会で泉区地域協議会の実施内容について随時共有を行った。		地域力推進担当 地域ケアプラザ
		・地域支援チーム会議を通じ、区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザによる地域の情報を共有	区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザのそれぞれの立場で把握している地域の課題や、地域で活動している団体の情報共有を行った。その結果、それぞれの地区の実情が共有され、三者一体となって課題解決に取り組むことができた。		地域力推進担当 地域ケアプラザ
		・支援チームでシート共有、支援方針の確認、更新と地域情報シートの地域住民との共有	6月と2月に地域情報シートを用いて、地域支援チームでの地域の情報や課題、各所属の取組を共有できるよう努めた。		福祉保健課 地域ケアプラザ
		・地区社協状況書作成を通じて把握した地域情報や課題を支援チームで共有	把握した地域情報や課題は各地区支援チームにて報告した。		区社会福祉協議会 地域ケアプラザ
	地域支援に携わる区職員等のコーディネート力向上を目的とした研修等を実施します。	・コーディネーター連絡会での情報共有	区域または地区担当職員で把握している地域情報を地域活動交流コーディネーター連絡会や生活支援コーディネーター連絡会にて共有した。		区社会福祉協議会 地域ケアプラザ
		・支援チームメンバー向けスキルアップ研修実施	5つのミニ講座を開催して、支援チームメンバーのスキルアップに努めた。		総務課 地域振興課 地域力推進担当 福祉保健課 地域ケアプラザ
		・地域活動交流コーディネーター連絡会主催のスキルアップ研修の開催及び継続実施（生活支援コーディネーター連絡会や包括支援センター連絡会との連携）	動画の作成についての研修を開催。地域ケアプラザや地域活動の広報等のために役立った。必要に応じて、生活支援コーディネーター連絡会と共通した情報を提供した。		区社会福祉協議会 地域ケアプラザ

推進の柱2

重点項目3：一人ひとりに寄り添った支援から地域の課題を考える

令和3年度泉わくわくプラン実施計画一覧（第4期計画1年目）

行動計画	取組	令和3年度実施計画	実施した取組結果	実施主体
1 地域課題の抽出と課題解決に向けた取組の検討	地域子育て支援拠点、区役所が子育て世代の当事者の声を拾い、地域ニーズを分析し、課題解決に向けた取組を地域活動者とともに検討します。	・地域活動の支援を通して得られるニーズの把握及び分析 ・アンケート調査による実態把握、分析	地区別ネットワーク会議や地区活動で得られた子育て世代のニーズを区・拠点連絡会で共有。 子育て支援拠点の利用者アンケート調査等をもとに、区・拠点連絡会の場で養育者の実情を共有。区は拠点利用者数や相談者数や相談内容の傾向から、オンライン講座の開催やひろば利用の見直しを図られるよう拠点に対し助言をした。	子ども家庭支援課 地域子育て支援拠点 子ども家庭支援課 地域子育て支援拠点
	自立支援協議会を開催し、障害児・者とその家族が抱える地域課題を共有し、解決に向けて地域と協働していきます。	・自立支援協議会の開催支援	総会（書面1回）、臨時総会（1回）、協議会（書面2回）開催とそれに向けての準備としての事務局会議へ参加。重心部会及び子ども部会を基幹相談支援センター等の関係部署と運営を支援した。	高齢・障害支援課 子ども家庭支援課 基幹相談支援センター 生活支援センター
	地域特性および多様な個別ニーズの分析を基にした生活支援体制の構築を進めます。	・地域住民等からの聞き取り	各地域ケアプラザの第2層生活支援コーディネーターが日々の業務の中で聞き取り等を実施した。※1	高齢・障害支援課 地域ケアプラザ
		・個別支援からのニーズ把握	日々の支援で汲み取れる多様な個別ニーズを分析し、地域ケア会議で課題の検討を行った。	高齢・障害支援課 地域ケアプラザ
		・Ayamuを活用した情報整理及び発信	Ayamu公開に向けた検討を行い、区の方向性をまとめた。	高齢・障害支援課 地域ケアプラザ
		・ニーズをもとに区域協議体、地区社会福祉協議会や民生委員向けに研修会開催	各地域ケアプラザエリアにおける地域ニーズに対するアプローチの実践を共有するために区域協議体を開催した。また、泉サポートプロジェクトの推進について検討する区域協議体を開催した。その他、地区社会福祉協議会向けにコロナ禍における地域活動の推進を目的として研修会を開催した。	区社会福祉協議会 地域ケアプラザ
		・区社会福祉協議会内で共有。他機関と連携し課題に向けた地域への働きかけ	地域支援会議などを活用し、各地域ケアプラザが把握したニーズや取組を共有した。各地域ケアプラザが把握したニーズに対し、第1層生活支援コーディネーターとしてフォローした。※1	区社会福祉協議会 地域ケアプラザ
		・広報紙で紹介	区社会福祉協議会だよりや各地域ケアプラザの広報を活用し紹介した。	区社会福祉協議会 地域ケアプラザ
		・ボランティアセンターで活動状況を把握、活動紹介	地域ごとの住民同士の支え合い活動の活動状況については、随時地区担当職員を通じて情報収集した。活動へ関心のある方には、ボランティアセンターから情報提供を行った。	区社会福祉協議会 地域ケアプラザ
	多様な主体と連携し、日常の困りごとに対する支援を充実させます。	・ニーズに沿った協議体の開催	区域の協議体を開催した（3回実施）	高齢・障害支援課 地域ケアプラザ
		・送迎車両等を活用した移動支援等	各地域ケアプラザエリアにおいて、高齢者を対象とした食事会や配食会、サロンなどへ施設の送迎車両等を活用した移動支援を行った。	区社会福祉協議会
		・区内アンケート実施、協議体開催	各地域ケアプラザエリアにおける地域ニーズに対するアプローチの実践を共有するために区域協議体を開催した。また、泉サポートプロジェクトの推進について検討する区域協議体を開催した。	区社会福祉協議会 地域ケアプラザ
		・地区社会福祉協議会分科会、専門機関部会での研修、活動報告会	【地区社会福祉協議会分科会】コロナ禍での地域活動の例として園芸療法をテーマに12月に研修会を実施。2月に、地域福祉保健計画の推進についての研修を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により次年度に延期した。	区社会福祉協議会 地域ケアプラザ
		・民間企業・社団法人によるサービス・地域貢献の創出	地域ケアプラザエリア毎に地域特性を踏まえ多様な主体と連携しサービス・地域貢献の創出を行った。また、泉サポートプロジェクトの推進について検討する区域協議体を開催した。	区社会福祉協議会 地域ケアプラザ
		・「泉サポートプロジェクト」に連動した各包括支援センターエリアごとの取組	地域特性を踏まえ多様な主体と連携し包括支援センターエリア毎の取組を進めた。	区社会福祉協議会 地域ケアプラザ
・ちよこっとボランティア立上げ支援、団体支援や情報交換会を開催		地域ケアプラザエリア毎の取組を第1層生活支援コーディネーターとして支援した。※1	区社会福祉協議会 地域ケアプラザ	
・身近な地域ごとの支え合い活動の推進	地域ケアプラザエリア毎の取組を第2層生活支援コーディネーターとして支援した。※1	区社会福祉協議会 地域ケアプラザ		

※1 第1層生活支援コーディネーター（泉区社会福祉協議会）は区内全域、第2層生活支援コーディネーター（地域ケアプラザ）は日常生活圏域を支援

推進の柱3  
重点項目1：参加する人を増やす

令和3年度泉わくわくプラン実施計画一覧（第4期計画1年目）

行動計画	取組	令和3年度実施計画	実施した取組結果	実施主体
1 地域活動に参加するきっかけ作り	地域における子育て情報を発信します。	・地域子育て支援拠点で情報掲示	地域子育て支援拠点の広場内に区事業チラシ等を掲示し、広く子育て世代への周知に努めた。	こども家庭支援課 地域子育て支援拠点
		・メルマガやすきっぷ通信の発行、WEBやSNSでの発信	子育て支援拠点のホームページやSNSを積極的に活用し、情報発信できるよう区から助言した。また、子育て支援拠点が広く認知されるよう母親・両親教室や乳幼児健康診査等で積極的に周知した。	こども家庭支援課 地域子育て支援拠点
		・窓口、健診会場でのチラシ等の配架や掲示、訪問等での案内など	子育て支援拠点の利用促進を目的に窓口や家庭訪問時にリーフレットを配付した。また福祉保健センター内に拠点を紹介するポスターを掲示している。	こども家庭支援課 地域子育て支援拠点
	地域の活動を周知するためのイベントを企画、開催します。	・地域福祉保健計画推進イベントの開催	2月22、24日に区民ホールにてワークショップと合わせて開催。地区別計画PRのための動画を12地区にて作成。推進イベントにて、計画の周知に活用した。	福祉保健課 区社会福祉協議会
		・健康づくりイベント	みんなの健康アップフェスティバル 概要：「世界禁煙デー・禁煙週間」、「食育月間」、「歯と口の健康習慣」を兼ねた生活習慣改善啓発のためのイベントを開催 日程：6/3 区役所区民ホール等 来場者数：約100人 地域ケアプラザエリア毎に企画した取組を第1層生活支援コーディネーターとして支援した。	福祉保健課 区社会福祉協議会
		・ボランティアフォーラム等イベントの開催	泉区ボランティアネットワーク主催のボランティアフォーラムの開催支援を行った。	福祉保健課 区社会福祉協議会
		・団体活動の周知	保健活動推進員や食生活等改善推進員が各地域において、健康づくりに関する推進の取組を円滑に行えるよう、啓発などの支援を実施。 令和3年度末時点の保健活動推進員：192人、食生活等改善推進員：60人 泉区ボランティアネットワークとして広報紙を年2回発行し、ボランティアセンターから関係機関にも周知を行った。また、ボランティア団体のメンバー養成講座をボランティアセンターとして共催し、周知等に協力した。	福祉保健課 区社会福祉協議会
	地域活動への参加意欲向上のため、幅広い世代に向けて情報発信をします。	・広報よこはま、タウンニュースを利用した周知	広報よこはまは6月、8月、12月、3月の計4回の地域活動団体の紹介を実施し、地域活動の担い手を発掘・育成をする泉区まちづくりみらい塾の周知を7月、10月の計2回実施した。	地域力推進担当 地域ケアプラザ
		・地域活動事例集「活動の継承」の作成・周知	区政推進課窓口、区社会福祉協議会、地域ケアプラザなどの区内施設、泉区まちづくりみらい塾、泉区連合自治会町内会長会などにて周知・配布を行った。	地域力推進担当 地域ケアプラザ
		・地区別計画取組紹介（広報よこはま泉区版）	2地区の地域活動を紹介した。また令和3年度より地域ケアプラザ紹介を開始し、4施設の紹介を行った。	福祉保健課 地域ケアプラザ
・区役所オープンデー等での広報		コロナにより中止	土木事務所 地域ケアプラザ	
・公園愛護会、水辺愛護会、ハマロードサポーターの紹介（広報よこはま、区民ホール・ギャラリーでの展示等		広報よこはま泉区版8月号で公園愛護会の紹介、広報よこはま泉区版9月号でハマロードサポーター、水辺愛護会の紹介、区民ホールでの公園愛護会、水辺愛護会、ハマロードサポーターの紹介展示、区民ギャラリーでの公園愛護会、水辺愛護会展示。	土木事務所 地域ケアプラザ	
・地域活動の周知		HPや広報誌に加えて、各地域ケアプラザのツールを活用した周知を行った。	区社会福祉協議会 地域ケアプラザ	
・HP等での周知協力		区社会福祉協議会主催の研修会等のお知らせをHPに掲載。	区社会福祉協議会 地域ケアプラザ	
・各学校での福祉教育の実施		区内小中学校より相談を受け、福祉教育授業を実施した。	区社会福祉協議会 地域ケアプラザ	
・助成金団体等の活動紹介	令和3年度は助成金団体としての活動紹介はできなかった。	区社会福祉協議会 地域ケアプラザ		

推進の柱3  
重点項目2：担い手を増やす

令和3年度泉わくわくプラン実施計画一覧（第4期計画1年目）

行動計画	取組	令和3年度実施計画	実施した取組結果	実施主体
1 活動を継続していくための支援	地域の活動グループからの相談対応や助言、研修会の実施により、活動継続を支援します。	・地域で活動する健康づくり団体への支援	保健活動推進員や食生活等改善推進員が各地域において、健康づくりに関する推進の取組を円滑に行えるよう、啓発などの支援を実施。 令和3年度末時点の保健活動推進員：192人、食生活等改善推進員：60人	福祉保健課
		・民生委員、児童委員の活動支援	地域で相談を受けた際に役立つ知識を得ていただく機会として、全体研修会を開催した。 主任児童委員と小中学校の情報共有の場として、小学校児童支援及び中学校生徒指導専任教諭との連絡会を開催した。 コロナ禍でも安心して活動できるよう、アルコール消毒液とマスクを地区民児協に配付した。	福祉保健課
		・親子サロン運営者の連絡会や研修の実施	区社会福祉協議会及び地域子育て支援拠点と協働で、親子サロンを対象とした研修会を実施した。	子ども家庭支援課 地域子育て支援拠点
		・子育て支援者による親子サークルのグループ活動の実践支援	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、未実施	子ども家庭支援課 地域子育て支援拠点
		・親子サークルリーダーを対象に研修を区社会福祉協議会、地域子育て支援拠点と協働で実施	区社会福祉協議会及び地域子育て支援拠点と協働で、親子サロンを対象とした研修会を実施した。	子ども家庭支援課 地域子育て支援拠点
		・ボランティアセンターの運営	ボランティアや地域住民の活動に関する様々な相談に応じ、活動のフォローアップや新しい生活様式での活動継続のための支援を行った。	区社会福祉協議会
		・ボランティアグループ等への研修会の開催	泉区ボランティアネットワークが主催する、会員団体の活動分野ごとの研修会や交流会の開催を支援した。	区社会福祉協議会
		・ボランティアグループの養成講座の開催	ボランティアグループのメンバー養成講座をボランティアセンターとして共催した。	区社会福祉協議会
	各種助成制度や実践的な技術を学ぶ研修等の実施により、地域活動を支援します。	・「町の防災組織」活動補助金	自治会町内会等の町の防災組織が防災活動に要した費用を対象に、「世帯数×160円」の補助を実施。153団体のうち149団体が当該補助金をもとに自主防災活動を実施した。	総務課
		・町の防災組織研修の開催	地震や風水害への対策について、「自助」「共助」についての講義を実施。令和3年度は、密を避けるため、同一内容を3日程で実施した。3日間で計54団体104名が参加した。	総務課
		・防災ライセンスリーダーの支援	例年、年度末に区独自の研修会を実施しているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。	総務課
		・地域の居場所開設、運営支援のためのコーディネーター派遣や相談対応	年間24回のコーディネーター派遣を実施した。	地域力推進担当
		・泉区まちづくりみらい塾の実施	受講者14名がまちづくりを実践的に学び、自らプラン（行動計画）を立てた。	地域力推進担当
		・自治会町内会活動等を地域住民へ周知するための自治会町内会広報掲示板の整備に関する補助の実施	自治会町内会広報掲示板整備補助金として、計329,000円を交付 【内訳】6団体12基	地域振興課
		・自治会町内会及び区民活動団体等の運営やスキルアップを支援する講座を開催（いずみ区民活動支援センター）	9/3開催「コロナの時代に自由に活動するためのお助け講座」 講師：木我陽子氏、参加人数：25人 11/12開催「動画配信やってみよう！」 講師：山口良介氏	地域振興課
・自治会町内会が実施する公益的活動等に対する補助の実施	地域活動推進費補助金として、計44,450,120円を交付 【内訳】自治会町内会 32,623,610円 地区連合町内会 9,826,510円 区連合町内会 2,000,000円	地域振興課		

推進の柱3  
重点項目2：担い手を増やす

令和3年度泉わくわくプラン実施計画一覧（第4期計画1年目）

行動計画	取組	令和3年度実施計画	実施した取組結果	実施主体
1 活動を継続していくための支援	各種助成制度や実践的な技術を学ぶ研修等の実施により、地域活動を支援します。	・公園愛護会、水辺愛護会、ハマロードサポーターを中心とした技術講習会等の開催	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止。	土木事務所
		・各種ボランティア講座の実施	学生向けの講座、高齢者の暮らしを学ぶ講座など、テーマ別・対象者別のボランティア講座を複数回実施した。	区社会福祉協議会 地域ケアプラザ
		・各種助成金の交付	「泉ふれあい助成金」「福祉の泉助成金」を交付し、団体活動を支援した。	区社会福祉協議会 地域ケアプラザ
		・地区社会福祉協議会のびき研修実施	新型コロナウイルス感染症の影響により、研修の実施はなし。	区社会福祉協議会 地域ケアプラザ
		・地区社会福祉協議会研修会の開催	コロナ禍での地域活動の例として園芸療法をテーマに12月に研修会を実施。2月に、地域福祉保健計画の推進についての研修を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により次年度に延期した。	区社会福祉協議会 地域ケアプラザ
		・ふれあい助成金、地区社会福祉協議会助成金による支援	ふれあい助成金、地区社会福祉協議会助成金を団体へ交付した。	区社会福祉協議会 地域ケアプラザ
		・まち普請などの情報提供、活用支援	必要に応じて情報提供を行った。	区社会福祉協議会 地域ケアプラザ
		・地区ボランティアセンターの立ち上げ及び運営支援	具体的な立ち上げはなかったものの既存の団体の支援を行った。	区社会福祉協議会 地域ケアプラザ

推進の柱3  
重点項目2：担い手を増やす

令和3年度泉わくわくプラン実施計画一覧（第4期計画1年目）

行動計画	取組	令和3年度実施計画	実施した取組結果	実施主体
1 活動を継続していくための支援	各種活動団体の交流会実施、事例等の共有、担い手同士の連携強化により、活動の継続に向けた支援を行います。	・町の防災ネットワーク会議	R1で活動を終了。会議での議論を受け、区民の皆様の防災への取組を支援するため「防災プログラム」を整備した。R2には動画を作成し、HPへ掲載。R3については、整備した各種プログラムを研修の機会等を通じて周知した。	総務課
		・地域防災拠点委員長会開催	各拠点での訓練の取り組み事例や助成金の使用状況などを情報交換し、他の拠点の動向を知ること、コロナ禍で停滞している拠点訓練及び運営委員会の活性化を図った。	総務課
		・泉区まちづくりみらい塾での受講生、卒業生、活動者との交流機会の提供	第1講では、過去のみらい塾卒業生の中で現在地域活動をされている方に活動紹介をしてもらい、その後、卒業生の活動を聞いて、受講者自身がやってみたいことを共有した。 第2講では、市内の地域活動団体4団体を見学先として現地見学会を実施した。 第3講では、過去の卒業生も招き、受講生の今後の活動のプラン発表と10周年記念セレモニーを行った。プラン発表の際、発表者へ一緒にできることなどを記載したプレゼントシートを送った。	地域力推進担当
		・地域協議会を通じ、各地区の地域活動を紹介	緑園地区のワンデーサポーター制度、和泉中央地区のいこいの家、和泉中央南ハイッ自治会によるICTの取組、下和泉地区の子供部について紹介した。	地域力推進担当
		・地域協議会などでの他自治体を含めた事例の研究	泉区地域協議会で左近山団地で活動している学生団体サコロボ、都筑区北山田町内会の事例紹介をした。	地域力推進担当
		・「泉区人財バンク」を活用し、ボランティア及びサークル活動団体等の地域における活躍の機会を提供（いずみ区民活動支援センター）	人財バンク登録団体体験会実施 9/22～10/22 応募団体：35団体、体験会参加人数：26人 人財バンク活動PR展 2/28～3/11 チラシ展示団体数：24団体、動画コーナー団体数：10団体 体験コーナー：10団体 ※人財バンク登録団体を紹介する「いずみ☆ショータイム」は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	地域振興課
		・自治会町内会長等の永年在職に対する表彰の実施	37名の表彰を行った。	地域振興課
		・子育て支援連絡会やエリア別子育て支援ネットワーク連絡会において、活動の情報共有実施	区全域を対象とした子育て支援連絡会及びエリア別子育て支援ネットワーク連絡会を活用し、地域の子育て支援活動に関する情報共有を行った。	こども家庭支援課 地域子育て支援拠点
		・公園愛護会、水辺愛護会、ハマロードサポーター交流会の実施	水辺愛護会、ハマロードサポーター全体交流会を10月に実施	土木事務所
		・地区社会福祉協議会分科会、専門機関部会での研修、活動報告会	地区社会福祉協議会のびきの内容に関してグループディスカッションを行い、地区社会福祉協議会会長及び事務局長と地区社会福祉協議会の強みについて振り返った。	区社会福祉協議会 地域ケアプラザ
	・各種会議等の開催及び支援	ボランティアネットワーク等区域のネットワーク組織に対し支援を行った。	区社会福祉協議会 地域ケアプラザ	
	現在活動している人が、地域の様々な課題を協力し合いながら解決する力を身に付けるための講座を行います。	・泉区まちづくりみらい塾	すでに地域で活躍している人たちに、講座に参加してもらい先進的な取組についての事例紹介をしてもらった。	地域力推進担当
	地域活動に関心を持ってもらうために、ホームページや事例集を通じ、効果的に情報を発信します。	・事例集「泉区の地域力」 ・HP「泉区地域の事例集」	区政推進課の窓口にて配布。 HP掲載ページの維持管理を行った。	
	ICTを活用してより多くの方が地域活動に関われるよう、支援します。	・地域活動におけるICT環境整備助成 ・ICT活用講座の開催 ・多職種のための情報連携支援	・区内7か所の地域ケアプラザを会場として、LINEやSNS、ZOOMを活用する講座を計21回開催し、延べ162名に受講いただき、アンケート結果も概ね好評であった。 ・高齢者サロン等へのスマホ講座を実施した。 ・多職種のための研修等を実施した。	地域力推進担当 福祉保健課 高齢・障害支援課

推進の柱3  
重点項目2：担い手を増やす

令和3年度泉わくわくプラン実施計画一覧（第4期計画1年目）

行動計画	取組	令和3年度実施計画	実施した取組結果	実施主体
2 新たな担い手の 発掘・育成	地域での新たな担い手を発掘・育成するため、これから地域に戻る世代（50～60代）を対象とした講座の開催や情報提供を行います。	・担い手発掘に向けた取組（応援フェア開催やリーフレット作成配付）	泉区の魅力や地域との関わり等について、主に泉区内在住の20歳～44歳の男女1,500人を対象に「泉区シティプロモーションと地域活動に関する意識調査」を実施し、地域活動等についての意見を把握した。（回答数：370件）	福祉保健課
	幅広い世代が気軽に取り組める地域活動の実施を支援します。	・地域協議会を通じた「地域活動の継続」をテーマとした議論	泉区地域協議会にて、区内や区外の次世代が活躍する地域活動の事例を紹介し、泉区全体で次世代をどのように取り込んでいくのかを議論し、意見書としてまとめた。	地域力推進担当
		・若年層を中心とした地域活動に参加している市民の意見を聞く機会の設定	市内の団地で活動している学生団体について、泉区地域協議会で事例紹介・グループ討議を行った。	地域力推進担当
		・地区連合自治会町内会が実施する地域交流行事支援の実施	新型コロナウイルス感染症の影響により、行事を実施せず。	地域振興課
	企業・NPOや学校等と地域との協力関係を構築し、地域活動への参加を促進します。	・地域行事やサロン等後方支援	地区担当職員と事業担当職員が連携し、地域行事やサロン等に対し後方支援を行った。	区社会福祉協議会
		・大学、小学校、企業等と連携した地域活動の実施	NPO法人と協働で、まちづくりみらい塾を実施した。	地域力推進担当
		・まちづくりみらい塾を通じ現地で活躍している法人等の現地見学会を実施	第2講では、市内の地域活動団体4団体を見学先として現地見学会を実施した。	
担い手として気軽に活動を始められるような講座の開催や、その人のニーズに合わせた活動を紹介します。	・NPOを通じ、地域活動について地域の若年層と意見交換する場の設定（泉区地域協議会）	市内の団地で活動している学生団体について、泉区地域協議会で事例紹介・グループ討議を行った。	区社会福祉協議会 地域ケアプラザ	
	・ボランティア活動、団体の紹介	ボランティアセンター・泉区ボランティアネットワークの広報紙を活用し、ボランティア活動や団体の紹介を行った。		

推進の柱3  
重点項目3：つながる機会を作る

令和3年度泉わくわくプラン実施計画一覧（第4期計画1年目）

行動計画	取組	令和3年度実施計画	実施した取組結果	実施主体
1 様々な人との交流の推進	小中高生や保護者に対し、乳幼児や高齢者、障害児・者についての理解を進める機会を提供します。	・福祉教育や啓発事業の実施	区内小中学校より相談を受け福祉教育授業を実施したほか、地域ケアプラザと協力し小学校の授業のなかで福祉への関心を高めるプロジェクトを実施した。	区社会福祉協議会
		・サマースクール事業	サマースクールの時期を変更し、小中学生等が秋の週末にボランティア体験を行う「いずみウィークエンドスクール2021」を予定していたが、感染状況を考慮し中止となった。	
	障害児・者と地域住民の交流及び障害児・者の社会参加の促進を目的とした取組を支援します。	・障害児・者社会参加支援事業	・泉ふれあいシールラリー開催（11月～12月） 昨年度に引き続き、泉ふれあいシールラリー2021を実施し、障害福祉サービス事業所が多くある泉区の魅力を広く発信した。	高年齢・障害支援課 区社会福祉協議会
		・サロン交流会、認知症カフェ等の取組支援等	認知症カフェの取組支援、立ち上げ支援をした。	高年齢・障害支援課 地域ケアプラザ
	・サービスB団体支援、啓発	要支援1・2の方やケアマネジャーを中心に、区民向けにも周知を行った。また、団体に対しても支援継続中。	高年齢・障害支援課 地域ケアプラザ	
		・助成金団体等既存の活動が広がる相談、支援	コロナ禍によって活動を休止せざるを得なくなった団体等へ支援を行った。	区社会福祉協議会 地域ケアプラザ
		・対象を限定しない居場所づくり	多世代交流等を目的に高齢者が集える場づくりを推進した。	区社会福祉協議会 地域ケアプラザ
		・小地域（単位自治会）エリアでの健康体操教室支援推進（助成金等）	地区担当を通じてふれあい助成金等活動に必要な情報提供を行った。	区社会福祉協議会 地域ケアプラザ
		・足腰の弱った方が通えるよう送迎・見守り支援の調整	各地域ケアプラザエリアごとに取り組んでいる移送支援の情報をまとめ、区域で共有した。	区社会福祉協議会 地域ケアプラザ
		・認知症サポーター養成講座を継続実施	認知症サポーター養成講座をボランティアセンター主催講座内で実施した。	区社会福祉協議会 地域ケアプラザ
	・認知症高齢者支援及び高齢者虐待に関する連絡会議の開催等	認知症支援事業及び虐待防止事業連絡会を開催した。	高年齢・障害支援課 地域ケアプラザ	
		・地区社会福祉協議会役員向け研修実施	コロナ禍での地域活動の例として園芸療法をテーマに12月に研修会を実施。2月に、地域福祉保健計画の推進についての研修を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により次年度に延期した。	区社会福祉協議会 地域ケアプラザ
		・ちょいボラ連絡会・食事サービス活動団体情報交換会等ネットワークづくり	エリア毎のネットワーク組織へ情報の提供や収集を行う等、ネットワークの強化に努めた。	区社会福祉協議会 地域ケアプラザ
		・西部ユースプラザ連絡会活用	連絡会に参加する地域ケアプラザと情報を共有した。	区社会福祉協議会 地域ケアプラザ
2 関係機関同士の連携強化	障害のある人への支援の充実のため、関係者間の情報共有を進めます。	・泉区障害福祉自立支援協議会（各分会）の運営支援	事務局会議12回、各分会（相談/日中活動/精神/グループホーム）及び分会事務局への出席。重点部会及び子ども部会を基幹相談支援センター等の関係部署と運営を支援した。	高年齢・障害支援課 子ども家庭支援課 基幹相談支援センター 生活支援センター
	学校、家庭及び地域が連携して、それぞれが持つ教育機能を発揮することで、青少年育成と地域における活動の充実を図ります。	・中学校単位で組織する実行委員会による会議やイベント等の実施	7中学校区の学校・家庭・地域連携事業実行委員会が13事業を実施し、青少年の健全育成を推進した。	子ども家庭支援課
	子どもの育ちや親の不安を支えていくための子育て課題を多様な視点から解決するため、子育て支援ネットワークによる関係機関との連携を進めていきます。	・子育て支援連絡会やエリア別子育て支援ネットワーク連絡会の開催及び活動支援	区全域を対象とした子育て支援連絡会を実施し、主任児童委員や保育所等の子育て支援に携わる方々と子育て支援について情報共有をした。また、エリア別子育て支援ネットワーク連絡会を地域ケアプラザや地域子育て支援拠点等と協働で開催し、地区の状況に応じた活動を推進した。	
	行政から各種地域団体への情報提供等を行います。	・泉区連合自治会町内会長会の開催	毎月1回開催（8月休会、9月書面、2月書面）	地域振興課
		・民生委員児童委員協議会の開催	10回開催（書面開催含む）	福祉保健課
・区役所各課や関係機関から地区社会福祉協議会分科会への情報提供促進		地区社会福祉協議会分科会にて、生活困窮者自立支援制度（泉区生活支援課）について説明等を実施。	区社会福祉協議会	
・泉区災害対策本部運営訓練	緊急地震速報鳴動時の初動及び庁舎内の区民誘導の訓練を行うとともに、震災時の活動について、状況付与型のシミュレーション訓練を実施し、発災初期の災害対応能力を向上を図った。	総務課		
	・地域活動交流コーディネーター連絡会での情報提供、地域課題の共有。	泉区地域協議会での討議内容、泉区まちづくりみらい塾の募集などの情報共有を行った。	地域力推進担当	

推進の柱3  
重点項目3：つながる機会を作る

令和3年度泉わくわくプラン実施計画一覧（第4期計画1年目）

行動計画	取組	令和3年度実施計画	実施した取組結果	実施主体
2 関係機関同士の連携強化	区役所内をはじめ、区社会福祉協議会・地域ケアプラザなど関係機関・団体等との連携を強化します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主企画事業の事例や企画立案に向けた課題等の情報共有を行う区民利用施設ネットワーク会議を開催（いずみ区民活動支援センター）</li> </ul>	泉区民施設ネットワーク会議開催 11/26 参加数：18施設20人 （参加施設：地区センター、コミュニティハウス、しらゆり集会所、地域ケアプラザ、図書館、泉寿荘、公会堂、天王森泉館、こどもログハウス、スポーツセンター、区社会福祉協議会、県立境川遊水池公園） 第1部：人財バンク登録者紹介「おはなしの風」（コンサートディング） 第2部：ワークショップ「コラボ企画案を考えてみよう！」	地域振興課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>泉区地域福祉保健推進協議会の開催</li> </ul>	6月4日と1月13日に、オンライン併用のハイブリッド形式で開催し、泉わくわくプラン及び泉区アクションプランの策定・推進や関係機関からの情報共有等を行った。	福祉保健課 高齢・障害支援課 区社会福祉協議会 地域ケアプラザ